

科目名	生活環境学（作業療法）	担当教員	久保 勝幸 鈴木 絵美 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------	------	------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	2単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR32BE	②、③、④					

科目概要	障害児・者、高齢者が住み慣れた自宅や地域社会において自立した生活を継続することは、対象者のQOL維持・向上の上で重要である。リハビリテーションは、対象者が抱える心身の障害のみならず、住環境、地域や職場（学校）環境をも考慮した幅広い視野を持った支援が必要である。本講義では、住環境整備に関する基礎的な知識、具体的な手法のほか、まちづくりについても理解し、対象者の特徴を考慮した適切な支援について考察を深める。
学習目標	① 住環境整備に必要な基礎的な知識、具体的な手法について理解し、対象者の状況に応じた住環境の評価や援助方法について理解する。 ② 我が国における福祉のまちづくりについて理解し、高齢者や障害者が地域で生活するための支援方法について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	ガイダンス 住環境整備の意義（1）	住環境とは 我が国の住宅事情と住宅施策 高齢者・障害者の住宅事情と住宅施策	高齢者・障害者にとっての住宅の問題について理解する。住環境整備の意義について理解する。	
2	住環境整備の意義（2）	介護保険制度における住環境整備	介護保険制度における住環境整備とその課題について理解する。	
3	住環境整備の進め方（1）	住環境整備の手法・過程・留意点	住環境整備の手法・過程・留意点について理解する。	
4	住環境整備の進め方（2）	情報収集・評価 多職種連携・OTの役割	住環境整備のための情報収集・評価の内容について理解する。 住環境整備における職種間連携の重要性、OTに求められる役割について理解する。	
5	建築知識の基本	住環境整備に必要な建築用語 図面の見方と見取図の書き方	住環境整備に必要な建築用語について理解する。 図面の見方と見取図の書き方について理解する。	
6	住環境整備の基本的配慮（1）	住宅部位・各室	住宅部位や各室における住環境整備の配慮点について理解する。	
7	住環境整備の基本的配慮（2）	住宅の平面計画・インテリア・照明・冷暖房・非常時の対応・経費と維持管理	住宅全般の配慮点について理解する。	
8	住環境整備と建築関連法規 移動用福祉用具	建築制限 リフト・段差解消機・階段昇降機・住宅用エレベーター	住環境整備の際の建築制限について理解する。 移動用福祉用具の機能・条件について理解する。	
9	住環境整備の実際（演習）	住環境の評価	住環境を実際に計測し、見取図を書くことができる。	
10	福祉のまちづくり	我が国の福祉のまちづくり歴史について	福祉のまちづくりに関する取り組みの過程及び課題を理解する。	
11	都市構造の実態と課題	歩道の特徴や機能について	高齢者・障害者のまちの移動における具体的な課題及び対策を理解する。	
12	住環境整備の実態把握（講義）	住環境整備における他職種の役割およびその連携について・実際	住環境整備における他職種の役割、連携について、臨床での実際例を通して理解する。	

13	住環境整備の実態把握（実践例）	住環境整備の実践例を通して、障害像等に合わせた手すりや福祉用具の適応について紹介する。	障害像に合わせた手すりや福祉用具の適応について、臨床での実際例を通して理解する。	
14	住環境整備の実態把握（グループワーク）	実際に手すりや福祉用具を使用し、住環境整備の一部を体験する。	実際の体験により、手すりや福祉用具の適応を理解する。	
15	住環境整備の実態把握（グループワーク）	障害像等に合わせた住環境整備を検討する。	グループワークを通して、障害像等に合わせた住環境整備の方法を理解する。	
評価方法		筆記試験（80%）、レポート課題（20%）		
課題に対するフィードバック		1 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。 2 オフィスアワーの時間帯に質問を受け、回答する。		
教科図書		特に指定しない（資料を配付する）		
参考図書		野村歡、他・著『OT・PTのための住環境整備論第2版』三輪書店、2015年 木村哲彦・監『生活環境論生活支援の視点と方法第6版』医歯薬出版、2010年 日本作業療法士協会・監『作業療法学全書改訂第3版第10巻作業療法技術学2福祉用具の使い方・住環境整備』協同医書出版社、2009年 伊藤利之、他・編『新版日常生活活動（ADL）評価と支援の実際』医歯薬出版、2010年		
学習の準備		1 事前学習として、日常生活活動学（作業療法）および演習を理解しておくこと(90分) 2 事後学習として、資料を見直し、要点を整理しておくこと、また、自宅図面の計測とレポート課題を行うこと(90分)。		
オフィスアワー		木曜日 16:20～16:50 その他担当教員から連絡する		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				